ハンガーゼロニュース　第401号　発行日2023年11月20日（毎月20日発行）定価15円

ハンガーゼロ（日本国際飢餓対策機構）は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体（NGO）です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合（Food for the Hungry International Federation）の一員として、20ヵ国、国内外の80のパートナーと協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころとからだの飢餓」に応える活動をしています。

酒井スタッフが12月末で退職

ハンガーゼロのフィリピン駐在員として派遣していました酒井保スタッフは、本年12月末日をもって退職いたします。これに伴い、酒井スタッフ指定の募金受付も同日で終了いたします。これまでのご支援を心より感謝申し上げます。なお「ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン」（HOLPFI）の活動は今後も継続されます。

酒井スタッフの支援者様には後日お届けする「プレイヤーレター」で改めて詳しくご報告させて頂きます。

好評発売中

フェアトレードチョコ

フェアトレードチョコレートの世界的定番品。純粋な材料（有機黒糖、有機ココアバター、有機全粉乳、有機カカオマス、有機粉状ヘーゼルナッツ等）で作られた、秋冬限定商品です。

1枚 475円（税込）、1枚 50g（一部 45g）、**4枚セット：送料込2,000円**（日時指定不可）

10枚セット：送料込 5,000円（日時指定は不可）

※5～9枚の場合は、商品単価×個数＋**送料520円**（日時指定不可）

※11枚以上の場合は、商品単価×個数＋宅急便料金

※送金は必ずキングダムビジネスまでお願いいたします。ハンガーゼロでは一切お受けできません。

お申し込み：
㈱キングダムビジネス
スマートフォンは右のQRコードから

電話注文：06-6755-4877

2024 カレンダーもお早めに

大きさ：A4 サイズ
（使用時は見開き A3 サイズ：高さ 420mm × 幅 297mm）
販売収益の一部はハンガーゼロの活動に用いられます。
価格：1,100円（税、送料込）
※詳しくは同社のホームページや電話で直接ご確認ください。

詳しくはお電話でご説明しますのでご連絡をお待ちしています

資料請求もできます。事務局までお問い合わせください

サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名（ふりがな）	
(TEL)	
住所	〒
申込日	年　月　日　NL401号

✓	下記から希望されるものをお申し込みください
□	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月（　　）□（1□1,000円） ②一時募金として　　円協力します。
□	継続募金（JIFH サポーター）として協力します。 毎月（　　）□　（1□500円）
□	チャイルドサポーター（子ども1人毎月 4,000円）の説明書（申込書）を送ってください。
□	郵便自動引落し申込書を送って下さい。
□	その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

※◀記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。

上の申込書をコピーして、必要事項を記入の上、FAX又は郵送にて大阪事務所までお送りください。確認書類等を送らせていただきます。お電話やウエブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero ハンガーゼロサポーター　現在…5336口　Child Supporter チャイルドサポーター　チャイルドサポーター　現在…1153人

■発行者　清家弘久
■発行所　一般財団法人 日本国際飢餓対策機構
ハンガーゼロで検索！
Webサイトアドレス　http://www.hungerzero.jp
eメールアドレス　general@jifh.org
フェイスブック　facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法　※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウエブサイトで
①郵便振替　00170-9-68590　一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ

「つながる募金」（旧かざして募金）に変わりました。ソフトバンクスマホの方は、Tポイントで募金ができます。

大阪（広島／沖縄）　〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1　TEL（072）920-2225　FAX（072）920-2155
東京（東北）　〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCC ビル 517 号室　TEL（03）3518-0781　FAX（03）3518-0782
愛知　〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 YWCA ビル 6F　TEL（052）265-7101　FAX（052）265-7132
USA　Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL(510)568-4939　FAX(510)293-0940

Hunger Zero　JIFH　チャイルドサポーター

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,682,884ポイント（円）のご協力（25,360件）がありました。Tポイント募金で検索。
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル（株）経由となります。詳しくはウエブサイトをご覧ください。

わたしから始める、世界が変わる

1分間に17人（内12人が子ども）
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています

Hunger Zero News
ハンガーゼロ・ニュース

2023 12 No.401

Hunger Zero News 今月号の内容

2023クリスマス募金の受付開始　P.2-3
ウクライナ緊急支援続報　P.4-6
チャイルドサポーター活動報告　P.7
フェアトレードチョコ好評発売中　P.8
紛争で傷ついた人々への心のケアの研修（エチオピア）　P.2-3

クリスマス募金にご協力ください

紛争下の人々と平和実現のために

今ウクライナやガザ地区で平和が脅かされている事を、私たちはニュースで知ることができます。しかし日本のニュースに取り上げられにくい地域でも、たくさんの人たちが紛争や戦闘による危機に晒されているのが現状です。今年のクリスマス募金は、ハンガーゼロの支援地で紛争に巻き込まれた人々の支援や平和のための取り組みに用いさせて頂きます。

【エチオピア】

厳しい状況下の女性と女児

2020年11月3日に勃発した「ティグレ紛争」は、北部エチオピアで深刻な影響を及ぼし、何千人もの死傷者や大規模な国内避難民、またホームレスを生みました。生計が脅かされ多くの人々が貧困に陥ったアムハラ州の戦争被災地では、人々は喪失、痛み、混乱、暴力を経験し、そのことが心の健康と社会生活に影響を及ぼしています。アムハラ地域では、女性と女児が性的暴力の被害を受けており、確認されたレイプの件数は729件（子ども94人）に達しています。さらに、12,077人の子どもたちが保護を必要とされていることが確認され、そのうち2,995人は孤児でした。

このような状況に対応するため、アムハラ地域、南ゴンダール地帯のレイ・ガイント地区とタチ・ガイント地区において、紛争の影響を受けている610人の女性と女児を対象に以下の支援を予定しています。

(a) 心の健康と社会生活支援

人権侵害を目の当たりにした紛争地域の人々は、様々な精神的な障害を抱える可能性が高く、子どもたちの教育意欲も低下します。紛争の影響を受けた500人の少女と女性には心のケアを提供する必要があります。(写真㊤)

(b) 女性、少女、子どもの保護の促進と性暴力への対応

様々な形で虐待され搾取される危険にさらされている女性、少女、子どもに対しては、地域の人々の意識を向上させ、地域に根ざした組織が関わること、青少年のライフ・スキルを強化して、子どもを保護することを目指します。

(c) 基礎教育と衛生用品へのアクセス

紛争がアムハラ地方に拡大した後、子どもたちは長期間学校に通えなくなりました。精神的苦痛と生活費や学費の高騰が相まって退学率が高くなり、また子どもたちの勉強意欲が低下していることも指摘されています。そこで、子どもたちが教育を受け続けることができるように必要な教材を提供し、衛生用品を直接、あるいは学校クラブを通じて提供します。

(d) 生計向上プログラム

生計の機会を改善することは、人々がショックから回復するために不可欠です。また、生計向上活動は、被災世帯がビジネスに従事することで、ストレスを軽減し、否定的な感情・記憶・経験を克服することにも貢献します。金銭的支援と非金銭的支援を組み合わせた生計向上プログラムで持続可能な家計収入を確保するため、女性世帯主に必要な支援を行います。

【スーダン】

紛争から逃れた人々を支援

2023年4月15日、スーダンの首都ハルツームで、武装勢力による衝突が発生し数百人が死亡しました。武力攻撃は他の都市にも広がっていて数千人の市民が身を守るために家に閉じこもり、電気、食料、飲料水、医薬品の不足を心配しています。

国連食糧計画（WFP）によると、すでに何千人もの人々が飢餓や食料不足に直面しています。またユニセフは、子どもたち1,360万人以上が人道支援を緊急に必要としており、300万人以上が深刻な急性栄養失調に直面していると報告しています。

ハンガーゼロの現地パートナーであるライフ・イン・アバンダンス（LIA）のカントリー・ディレクターも被災して、遠くの都市に逃れています。彼は「何百万人もの市民が銃撃戦に巻き込まれ、基本的な生活必需品や物資が不足しています。人々は電気も水もない摂氏40度の暑さの中で家に閉じこもっています。病院では物資が底をつき、援助機関は活動を停止しています」と語っています。LIAのチームも自宅や事務所を追われており活動は現在限られていますが、今後6ヵ月の間に2,000人に食料を配給する予定です。

また、LIAが活動している近隣諸国（南スーダン、エチオピア）では、避難民の流入が多く、現地のパートナー教会や志を同じくする団体の協力のもと、難民キャンプにいる避難民に1,500枚の蚊帳を提供し、2,000人分の食料を配給すると共に難民キャンプでの給水・衛生・保健活動を支援する予定です。栄養失調の危険にさらされている1,000人に栄養食品とサプリメントを配布し、国内の難民キャンプなどに避難している1,000人の子どもたちに教育支援も行いたいと願っています。

難民キャンプの子どもたち

【コンゴ民主共和国】

部族間の和解に取り組む

コンゴ民主共和国南東部のタンガニーカ州の州都カレミでは、紛争が続くピグミー族とバントゥー族のために、ハンガーゼロの現地パートナーであるHands of Love Congo（HOLC）が4年前から、和解の取り組みを続けています。HOLCは、国内避難民キャンプでの食料支援、平和と和解のための学び、「考え方（mindset）」の変革のための研修、そして両部族が共に農業に取り組むことができるように支援してきました。今では近隣の6つの村の2,524人の家族が十分食べて平和に暮らすことができています。昨今のエネルギー・食料価格の高騰やインフレなどの中でもこの取り組みが広がっていくように、引き続き支援をしていきます。

2023クリスマス募金

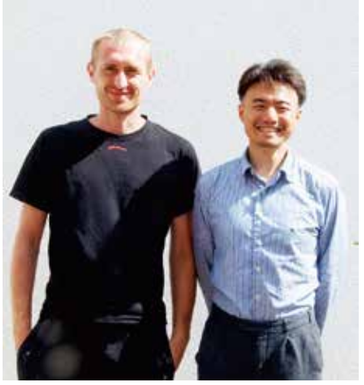
募金目標
800万円

① 郵便振替 00170-9-68590
一般財団法人日本国際飢餓対策機構「クリスマス募金」と明記
②WEBサイト「ハンガーゼロ」で検索又はスマホでQRコード入り、クレジットカードを利用

※WEBサイトからの募金受付は12月からとなります

高知ペンテコステ教会隣接のクリニック
医療法人オリーブ
大川内科
循環器内科・内科・老年内科
院長 大川 真理（おおかわ まこと）

◀一緒にボランティアをした避難民家族。配給の帰りに寄った動物園で撮影。別れ際にお母さんが「今日はありがとう。久しぶりに娘の笑顔が見られました。また誘ってください。」とおっしゃってくださいました。避難民支援は物質的な支えも必要ですが、彼らの尊厳が守られるような人格的な支援が必要になります。
▼デニスさんと王さん



報告③／ハンガーゼロ ウクライナ緊急支援チーム深水典幸（ふかみずのりゆき）さん

長期化する戦いに翻弄される避難民

ウクライナで難民緊急支援活動に参加していた
深水さんの報告を今月と1月号で掲載します。

ウクライナを巡り、発電機や食糧、衛生用品などの配給やキッズプログラム、日本文化交流会、避難所・避難民家庭の訪問と経済的援助など幅広い支援を行ってきました。 2回目のウクライナ入りということで現地にはすでに友人もおり、現地の雰囲気も分かっていたため、前回の支援よりも人間関係を築くことに注力できたように思います。

ウクライナ国民の中にある分断

避難民の中には怒りや憎しみがあります。スイッチのようなものがあって急に同じ不平や不満を繰り返して訴えてくるのです。1年半以上続く不安定な生活の影響が大きいと思います。

「(ウクライナの)西部の人間は避難民のことを理解していない。私たちは文字通り全てを失ったんだ。空襲警報だけが戦争じゃない」とは、ある避難民の言葉です。どこか西部のウクライナ人や政治家を非難しているような響きがありました。前回の報告（本紙8月号)で南東部と西部とで戦況が異なるとお話ししましたが、この避難民の言葉の背景には現行の地理的な戦況の違い以上の隔たりを感じました。

デニスさん（写真㊤)は戦争で片足を失ったお母さんと一緒にウクライナ西部リヴィウで避難生活を送っています。彼は次のように語りました。「政府は何もしてくれなかった。母の義足はスロヴァキアからの寄付だ。キーウは遠い、戦前からずっと遠かったんだ」。デニスさんの政治不信に西部と南東部の長きにわたる隔たりを感じました。彼自身も助成金に依存的な傾向があり開戦から仕事をしていませんでした。物資依存や無気力は多くの避難民が抱える問題です。写真はそんな彼を励ますために一緒にペンキ塗りの奉仕をした日に撮ったものです。先日、王さん（ハンガーゼロ・ウクライナ緊急支援担当)から、デニスさんが炭鉱で働き始めたとの連絡がありました。とても嬉しかったです。ただ、これから彼自身がめげないで仕事を続けられるように励ます必要があると感じています。彼には薬物やタバコ、お酒の依存があるのではないかという噂があり、そのことが周りの人々からの彼への信用を落としているからです。

ウクライナはソビエトの長い影（政治、歴史、地理、言語などが独立以前から受けてきた影響)に覆われてきました。そこで蓄積されたあらゆる社会問題ー汚職、失業、依存症、家庭崩壊ーが戦況と複雑に絡まり合い人々の心を暗くし、人と人との間を分断しています。

戦禍における教会の必要性は増している

東部ハルキウ市内の教会に発電機を届けた時、そこで教会職員のボーバさんと出会いました。ボーバさんによると、戦争が始まってからこれまでに200名が洗礼を受け、新しく7つの教会ができたそうです。しかし、戦前の教会員の多くは国内外に避難し散り散りになってしまいました。今、ウクライナ中で教会が散らされ、又生まれています。活動的な多くの教会は国内外の人道支援団体の窓口となっていて、このことが避難民に大きな励ましとなっています。教会が支援とそれを必要としている人をつなぐことができている理由は2つあるように思います。 1つは教会が宗教法人として公的な信用を得ているため、もう1つはウライナ全土において、戦前から教会が地道に地域の　ニーズに寄り沿い続けてきたためです。戦渦における教会の働きの根本は平生と変わらず、その必要は増しているようです。

▼ボーバさんの教会の一角に広げられた薬。大規模な食糧配給が原因で感染症や下痢になってしまう人たちがいる。▼㊦ハルキウの爆撃で破壊された小学校

徴兵制

現地でゼレンスキー大統領についてどう思うかを聞くと、若者からは肯定的な意見をよく耳にします。けれども、中年層からは否定的な意見も聞きます。これは戦前の汚職撤廃政策に対する評価でもありますが、徴兵制も大きな理由の一つとなっています。国外には避難できず、招集されれば兵役に就かなければならない。選択の自由がないことが反感を買っているようです。

ウクライナには徴兵を逃れるために、学生になったりボランティアになったりする人がいます。「徴兵逃れ」と呼ばれる彼らはウクライナ国内でも度々報道されています。「賄賂で徴兵逃れの男が逮捕」「通りで取り押さえられて兵舎に連行される男の動画」など様々です。ネガティヴな響きのする「徴兵逃れ」ですが、その現実は複雑です。ある男性は「自分のような勇猛果敢に戦うことのできない平和主義者は、戦地に行っても何もできず死ぬしかない。それなら国外に避難した家族に会うために絶対に生き延びるんだ。そのためならなんでもする。それにボランティアとして国のために戦うこともできる」と話してくれました。彼は政府から身を隠すために避難民の申請を出しておらず、助成金を受け取っていません。

タラスさんは食料配給を続ける西部サンビルの教会員です。小さな2人の子どもと奥さんを支えるお父さんでもあります。いつも食料配給の現場を冗談で明るくしてくれるムードメイカーでしたが、先日召集され、現在どこに所属しているのか誰にもわかりません。徴兵された者には銃を持たない権利があるそうです。タラスさんは自分の信仰のもと、銃を手にしないで戦いたいと話していました。けれど、旧ソ連式の軍上層部の人間がどこまでクリスチャンの主張を受け入れるのか教会員は心配しています。

ある青年は大学でドイツ語と英語を学んでいます。将来は翻訳家になりたいそうです。けれど卒業すれば彼も徴兵されます。彼は招集されれば銃を持って戦うと言います。リーダーに従い国の平和のために戦うことが彼の信仰のあり方だからです。

写真㊦は3月末に亡くなった志願兵のお墓です。彼は私の宿泊していた神学校の卒業生でした。享年23歳でした。

みな自分の正義によって人生の決断をしています。けれど戦禍において正しさの所在など誰にもわかりません。ただただ全ての人の平和と安全を祈るばかりです。

（1月号に続く）

備蓄をしながら社会貢献

世界にパンを届けよう
救缶鳥
Kyu-Can-Chô
皆様から回収された救缶鳥は
各地に飛んでいきました！
食料が不足している、
国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、
海外の飢餓地域等へ送られました。
CONFECTIONERY AKIMOTO
おいしさと夢をお届けします。
株式会社パン・アキモト
パンの缶詰
since 1995
〒329-3147
栃木県那須塩原市東小屋295-4
TEL 0287-65-3351
パン・アキモト 検索

避難民の自信回復のために一緒に活動することも

王楠穎（おうなんえい）さんが活動報告

ウクライナでハンガーゼロの緊急支援活動を続けている台湾国籍の王楠穎さんが再来日し、世界食料デーや支援者集会などで報告を行いました。ロシアとの戦争が長期化する中、王さんは地元のキリスト教会などと協力しながら、各地に避難している人々に精力的に支援を続けています。困窮家庭への食料（パンの缶詰も含む）や生活用品、発電機などの物資の配布、子どもたちの夏期キャンプに参加して運営支援、各地に点在する臨時の医療施設への医薬品類の提供など活動は多岐に渡っています。

支援団体の神戸東部教会・ハン牧師を訪問して活動を報告する王さん㊨

ハンガーゼロの支援を受けて、現在３つの地域の人々を対象に支援活動を行っています。ウクライナがロシアに侵略された影響で東側に残る人々への支援と、リビィウで東から避難して来た人々への支援と、日本やチェコ、ポーランド、台湾へ避難した人々への支援です。

ウクライナの東側の人々のためには、食べ物や日用品などの物資を緊急配布したり、現地の臨時病院に医療用品を送ったり（写真㊦医者はいません、看護師だけです、後ろの建物は元農業大学）、ボロボロの学校でキッズキャンプをしたりしています。

リヴィウに避難して来た人々のために、地元の教会とともに支援物資を調達したり、現地の孤児院に食料を提供したりしています。５つの孤児院と協力して活動しています。リヴィウの大型避難所でも、毎日、室外又は室内で子ども支援＿活動を行っています。又３つの避難所の避難民たちとともに、教会の掃除や修繕、修理や整理、整頓などさまざまな活動をすることによって、避難してきた人々が自信を回復できるように、サポートしています。そして、活動後に生活支援のために食料や手当を支給しています。

冬の備えや退役軍人の心のケアも課題

まだまだ様々な課題があります。間もなく真冬になるので、カイロや燃料や木材やコートなど、防寒対策が必要です。また西側の避難民向けの洗濯機や冷蔵庫などの日常設備を確保することや教育支援を進めていくための教科書や勉強を教える先生や場所も必要です。

前線にいた元軍人たちの体の回復と心の慰め、また彼らの家族の支援、臨時病院に高齢者や子ども向けの医療用品と最低限の関連設備、一緒に活動するボランティアの長距離移動のために、現地で借りている古い車のメンテナンスも必要になっています。

ウクライナの人々のためにこれからもお祈りと支援をお願いいたします。ありがとうございます。

【ウクライナ緊急支援募金】

募金は…①郵便振替　②ホームページからのクレジットカード決済利用の２種類
①郵便振替　00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構　「ウクライナ緊急支援」と明記
②ホームページ　募金画面からクレジットカード、コンビニ決済がご利用いただけます。

聖書の学び会
イエス・キリスト エクレシア
よろこび研究会
真理はあなたを自由にします。ヨハネ福音書8章32節
── この御言葉を中心として「よろこび」を学んでいます ──

真理のことばで“よろこび”をお届けしています。
① 聖書のみことばをわかりやすく
② 日常生活に適用できるように
③ より実践的に
毎月新たな聖書箇所を読み、お一人お一人の状況に照らしてメッセージをしていきます。**初めての方でも大丈夫です。**
共に学び、よろこびを探求しましょう。
メッセンジャー：奥田英男　【参加自由・無料・席上献金有り】
Info@yorokobi-lab.com
042(553)0511 ㈱オクダコーポレーション内

家族のStory ストーリー

UGANDA ウガンダ

Child Supporter チャイルドサポーター

保健推進ボランティア　サラマ・ンゴビさん

呼吸器疾患に苦しむ人々をなくしたい

サラマ・ンゴビさんは夫と息子（10歳、4歳）娘（8歳、15ヵ月）とナムトゥンバ・マガダコミュニティでトウモロコシ、落花生、トマトや玉ねぎなどを育て、それを売って暮らしています。

FH= 国際飢餓対策機構

ウガンダでは５歳未満の子どもの９％が、調査前の２週間に急性呼吸器感染症の症状があったと報告されています。ナムトゥンバでも乳児の死亡が増加しています。FHは2022年10月から2023年３月にかけて、地域の変革をうながすことを目標に、特に子どもたちとその家族を対象とした生活、教育、健康、栄養、ジェンダー、子どもの保護などの活動を実施し、成果を上げています。その中で保健衛生活動に積極的に取り組んだサラマさんの報告です。

【FHが介入する前の家族の問題】

私の子どもたちだけではなく、近所の子どもたちにも症状が時々現れていました。一番下の娘が肺炎になったときも、呼吸困難で苦しむ姿を見てどうすればいいか分かりませんでした。私は健康や栄養について、また乳幼児の食事についてもよく知りませんでしたし、肺炎などの予防についての知識もありませんでした。

FHのプログラムに参加して

2017年に貯蓄グループに参加しその後保健推進ボランティアになって、2022年４月から５ヵ月間、急性呼吸器疾患について学びました。12月に末の娘が肺炎になった時、研修で学んだ知識があったので、すぐにマガダの保健センターに連れて行って治療を受けさせることができました。娘は２週間でこの病気から回復しました。私は娘に母乳を与え続け、病気から守るためにバランスのとれた食事を与える努力をしました。また肺炎を引き起こす可能性のある煙による刺激を防ぐために、調理は台所のみで行うことを徹底しました。

FHのプログラムが地域に与えた影響

「FHは私たち家族の健康を向上させるための知識と対処の方法を身につけさせてくれました。地域で行われている急性呼吸器疾患に関する研修は、肺炎を減らすことに貢献していて、以前に比べて呼吸器疾患に対する意識が高まってきています。私はこの地域の呼吸器疾患で苦しむ人々を助けるお役に立てて、とても誇りに感じています。この地域から肺炎患者がなくなるように、また地域の人々がさまざまな知識を身に着けて、健康な生活を送ることができるようになることを願っています。」

ロングライフタウン寝屋川公園 フィレンツェの丘
私たちロングライフグループは、
ハンガーゼロの活動を応援しています。
ロングライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。
Health & Natural Beauty ロングライフグループ　Resort & Long Life 1986
0120-550-294 受付時間 9:00～18:00 年中無休
大阪本社／〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階　東京本社／〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階
ロングライフグループ拠点：北海道／埼玉／東京／神奈川／千葉／静岡／愛知／大阪／兵庫／京都／大分／沖縄／中国（青島）／韓国／インドネシア（ジャカルタ）